

## 令和 3 年度第 3 回地方独立行政法人長野県立病院機構評価委員会

## ○評価区分の変更に対する委員御意見

	評価委員 御意見
鮎澤委員	<p>5段階評価に変更する点に反対はないのですが、80%以上100%未満の達成は、合格点ではあるかと思いますが、100%になっていない以上は達成というのは違和感があります。「概ね目標を達成しているがもう一步の対応・改善が必要な項目」と皆さんも認識し、改善は求めるわけですので、「達成」「概ね達成」「未達成」と5段階3区分評価にされるというもあり得るのかと思います。</p> <p>なお、評価を難しくしている点として1つの評価につき複数の項目が含まれていることや、その項目間に優劣がある点だと感じています。</p> <p>特に小項目は具体的な行動目標が掲げられているものの、定量項目が達成できていなくても、定性項目は達成しているのでA評価とするなどがあったかと思えます。</p> <p>このため、まずは小項目での行動目標を最も重視する項目に絞り、項目間に優劣をなくしていただくことも必要ではないかと思えます。</p> <p>また、中項目、大項目の評価基準も明確にしていただければと思います。例えば中項目の評価は小項目の評価の割合で判断するのか、S項目を2点などのウェイト付けをしてその点数で評価するのか、現状ですとAの数が多いからAなどになっているように主観的な判断（それだから評価委員会を開催していると言われればそれまでですが）ですので、ある程度の評価基準があると助かります。</p>
小口委員	賛成
川合委員	了承しました。
田下委員	評価区分の見直しについては賛成致します。
浜田委員	適切な改正だと考えます。
宮坂委員	提案の趣旨は理解できましたので、提案どおりで良いです。評価を行う目的は、各施設における課題が明確になることなので、達成の区分がA、B、未達成区分がC、Dの2つに分かれている方が、課題がより明確になり良いと思えます。
山上委員	A評価に偏る点は気になっておりましたので、ご提案に賛成いたします。